

のぎく

＊
第128号
令和3年3月31日発行
＊

編集人 機関誌編集委員

発行人

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター内

TEL (078) 242-4644 FAX (078) 242-4069

E-mail:h-ikuseijimukyoku@honey.ocn.ne.jp http://www.tsunaguiku.sakura.ne.jp/



令和2年度 疑似体験啓発事業 ひょうごつなぎ隊

公益財団法人
兵庫県手をつなぐ育成会
理事長/井上 三枝子



まんまるはーと



宝塚すみれ隊



はぁ〜とポケット



ピース&ピース



輪・和・WA

目次

理事長あいさつ	2	親なきあと相談会(三田市)に参加してのアンケート集約	10
令和3年度 事業計画	3	生活サポート総合補償制度	11
令和3年度 収支予算書	4	地域自慢 in 豊岡市	12
施設・事業所部会 学齢・本人活動支援部会併催	5	(株)大黒商事様から寄附	13
新型コロナ特集	6	7月豪雨義援金のお礼	13
権利擁護委員会・就労支援部会	8	令和2年度 賛助会員	13
地域生活・高齢化対策部会		合同での視察に参加して	14
障害基礎年金学習会をYouTubeで開催しました	9	令和2年度 知事表彰	14
権利擁護セミナー(in鳥取)	10	第16回兵庫県障害者芸術・文化祭[障害者福祉大会]就労表彰	14
		編集後記	14

コロナ禍から学ぶ、新しい会活動 (パートⅡ)



公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会
理事長 井上 三枝子

昨年の今頃は新型コロナウイルス感染症が流行の兆しを見せ、全国一斉に学校が休校になり未知のウイルスによる不安と恐怖でいっぱいでした。そのような中、前回の「のぎく」第127号では「コロナウイルス特集」として、緊急事態宣言後の毎日の暮らしの変化や対策について皆さんから情報を集めお伝えしました。発行した11月時点では9月の第2波が収まり10月にいったん減少した患者数も11月から再び第3波により増加していきました。そのため、今回の「のぎく」第128号でも主に体験談を主としてコロナウイルスの特集をすることになりました。

体験談では、罹患された方や疑いのあった方、また事業所内でのことなどそれぞれケースは違いますが、病院探しや言われない差別など苦勞がしのばれ胸に迫るものがあります。

すでにコロナウイルス収束の切り札であるワクチン接種が始まりつつあり、薬も出始めていることで一日も早く収束することを願ってやみません。

このような状況の中、集合体の研修会は難しく、育成会の部会なども縮小傾向になっています。しかし、前回の紙面でもお伝えしたように「新任相談員研修会」をオンラインで実施し、その後1月に施設・事業所部会(学齢・本人活動支援部会併催)、年金学習会をオンラインで行い、徐々に形は変わっても研修会を実施できるようになりました。年金学習会では、講師の小林先生に事前に録画をお願いし、その映像を県内の予定していた特別支援学校4校に期間限定で配信しましたところ実に600回以上の視聴がありました。毎年、参加の多い学習会ですが、期間内であれば、都合の良い時間に何度でも誰とでも視聴することができる手軽さもあり、初めての試みは大成功でした。

また、昨年末に全国手をつなぐ育成会連合会(全育連)が会員に障害基礎年金についてのアンケートを実施したところ全国各地から生活の様子や障害年金についての生の声が寄せられました。その中で知識があれば正しく年金が受給できるケースが多くありました。子どもが将来安定した生活を送るには障害年金は不可欠です。今回のアンケートを基に早速令和3年度から年金学習会を実施すべく具体的な方策を立てることになりました。兵庫県が先駆的に行っている年金学習会が全国的な広がりになりつつあり嬉しく思っています。

成年後見制度についてもなかなか広まりを見せず使い勝手の悪さがあるのではないかとこのことについても全育連でアンケートを実施し、利用促進に向けて国に提言する予定です。

昨年からのコロナ禍の中、育成会の一番の強みである顔の見える関係づくりがコロナ禍では難しいことも多くありましたが、オンラインによる研修や会議を併用し活動するに活路を見出すきっかけになったのではと期待します。

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 令和3年度事業計画

I 基本方針

障害者差別解消法施行後も知的障害者への虐待は後を絶たず、引き続き権利擁護と共生社会の実現を目指し、理解促進のための啓発活動を県下各地で着実に進めていくことが重要である。

一方、会員の高齢化と会員減少という組織的危機を前にして、若い親への加入働きかけや時代に即応した事業推進など、組織の活性化と存続への取組みが急務となっている。

令和3年度は、これらを踏まえ、「知的障害者の権利擁護」を重点目標とし、疑似体験啓発活動、障害基礎年金学習会、親なきあと相談、障害児等職業体験事業等を実施する。

今後とも、県下各地区育成会、全国や近畿の育成会組織と緊密に連携し、活動の質的充実と組織運営の安定化を図っていく。

〔会員数の動向〕

■令和2年度の会員数は3,722名で、対前年度比108名減と予想以上の減となった。

全県的には減少基調にあるが、11地区では増減がなく、5地区では微増している。

■加入率(療育手帳所持者数に対する会員数の割合)は、令和元年度は9.7%で、対前年度比0.8ポイントの減となった。

II 主要事業

1 知的障害者に関する研修

(1)権利擁護委員会活動

権利擁護に関する研修会の開催や先進的施設の調査等を実施するほか、必要に応じ行政・関係団体との連絡調整、行政への要望活動等を行う。

(2)専門部会活動

「地域生活・高齢化対策」、「就労支援」、「施設・事業所」、「学齢・本人活動支援」の4部会において、特定課題に関する研修会等を開催する。

(3)障害基礎年金学習会

本人の障害基礎年金の受給漏れ等が出ないように、特別支援学校において障害基礎年金の申請手続き等に関する学習会を開催する。

(4)成年後見制度利用促進講座

家族や支援者等が成年後見制度や各種生活支援サービス等について理解を深める講座を開催する。講座日程は従来の4日から2日に短縮して開催する。

(5)障害児等職業体験事業の実施

職業型テーマパーク「キッサニア甲子園」を借上げ、職業体験事業を実施し、働くことの大切さを学び、未来の夢を育む機会を提供する。

2 知的障害者に関する普及・啓発

(1)第65回兵庫県知的障害者福祉大会の開催

「巨大災害への備え」をテーマとし、知的障害者への情報提供や避難支援のあり方、平時からの心構え等について理解を深め今後の実践に活かす。県育成会理事長表彰及び感謝を実施する。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、新たな取り組みとして集合形式とライブ

配信形式を組み合わせで開催する。

- (2)疑似体験啓発活動の推進(ひょうご“つなぎ隊”)
各地区の疑似体験啓発活動団体の取組みを広く発信するとともに、新たな活動団体の立上げや現活動の充実を支援するため助成等を行う。

3 知的障害者に対する支援

(1)知的障害者への相談

育成会役員が本人や家族等の様々な悩みや困りごと、直面する課題等について相談に応じる。

(2)専門家による親なきあと相談

会員の親なきあとの準備を支援するため、重要課題のひとつである、「財産管理の仕方」(信託、遺言、成年後見、相続等)について、専門家(弁護士)が地域に出向いて相談を行う。

(3)地域生活援助者養成講座の開催

知的障害者がグループホーム等で安心して生活できるよう、グループホーム支援員等のスキルアップ向上のための一連の講座を開催する。

4 育成会の組織運営

(1)全国・近畿育成会との連携

全国手をつなぐ育成会連合会や近畿手をつなぐ育成会連絡協議会の活動に積極的に参画し、そのノウハウや最新情報等を本会活動に活かす。

(2)会長会等の開催

会長会や地区会長懇談会等を開催し、会員ニーズの把握、地域課題の発掘と共有化を図り、課題解決に向けた効果的な事業推進につなげる。

(3)兵庫県等への要望

制度政策を通じた障害福祉サービス等の向上に向け、兵庫県や国に対し予算要望を行う。

5 育成会改革プランの推進

本会が直面する組織的課題(会員の高齢化、会員減少等)に対応するために策定した、「育成会改革プラン」(平成30年3月)を着実に推進し、組織の存続と安定化を図る。

III 具体的な事業内容

1 公益目的事業

(1)知的障害者に関する研修

〔県育成会〕

- ①権利擁護委員会活動(権利擁護に関する研修、連絡会議等)
- ②知的障害者相談員研修会
- ③専門部会活動
 - ア 地域生活・高齢化対策部会
 - イ 就労支援部会
 - ウ 施設・事業所部会
 - エ 学齢・本人活動支援部会
- ④障害基礎年金学習会 特別支援学校 4校
- ⑤成年後見制度利用促進講座 1箇所・2日間
- ⑥障害児等職業体験事業
キッサニア甲子園(西宮市)
- ⑦ブロック別保護者研修会 県下9ブロック
- ⑧社会参加支援事業 県下9ブロック

〔全国手をつなぐ育成会連合会〕

- ①全国大会
- ②全国育成会連合会・権利擁護セミナー
- ③全国事業所協議会研修大会

〔近畿手をつなぐ育成会連絡協議会〕

- ①第60回近畿知的障害者福祉大会
令和3年9月26日(日) 大阪府東大阪市
- ②近畿リーダー養成研修会
令和3年12月上旬 滋賀県

〔各種大会〕

- ①福祉の集い
- ②賀詞交換会
- ③兵庫県社会福祉大会
令和3年11月12日(金) 南あわじ市

(2)知的障害者に関する普及・啓発

- ①第65回兵庫県知的障害者福祉大会
令和3年10月29日(金) 加西市市民会館
※加西市で開催すると同時に各地区の会場にライブ配信する。

②疑似体験啓発活動の推進

- 〔活動団体 11団体〕
- 尼崎市「まんまるはーと」
- 西宮市「輪・和・WA」
- 伊丹市「ぱずる」
- 宝塚市「宝塚すみれ隊」
- 川西市「川西市知的障害啓発隊」
- 三田市「はぁ〜とポケット」
- 猪名川町「いなキャラ」
- 明石地区「まねっこ隊」
- たつの市「ぴーす&ピース」
- 南あわじ市「おひさま隊」
- 多可町「ぐーちょきぱー」

- ③第15回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会
令和3年5月1日(土)~6月5日(土)
 - ④兵庫県障害者芸術・文化祭(兵庫県障害者福祉大会)
【舞台部門】たつの市
【作品展】「兵庫県立美術館」(神戸市)
 - ⑤知的障害者就労表彰(理事長表彰、知事表彰)
一般企業等で10年以上又は20年以上就労された方への表彰
 - ⑥機関誌「のぎく」の発行 年2回
- (3)知的障害者に対する支援
- ①知的障害者への相談
 - ②専門家による親なきあと相談 2地区
 - ③地域生活援助者養成講座
 - ④在宅重度障害者生活環境改善資金貸付事業
100万円以内 無利子

2 収益事業

- (1)全国育成会連合会・交流誌「手をつなぐ」助成金の地区還付
- (2)「心のとも運動」還元金の地区還付
- (3)国庫補助事業助成事務

3 育成会の組織運営

- (1)評議員会の開催 年2回(定例)
- (2)理事会の開催 年4回(定例3、臨時1)
- (3)三役会の開催 月1回
- (4)会長会の開催 年2回
- (5)地区会長懇談会の開催 県下各ブロック
- (6)専門部会役員会の開催
- (7)兵庫県等への予算要望

4 育成会改革プランの推進

令和3年度収支予算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

(単位：円)

科 目	合 計	事業会計
I 経 常 収 益		
基本財産運用益	87,200	87,200
特定資産運用益	77,600	77,600
受取会費	8,164,000	8,164,000
賛助会費	700,000	700,000
事業収益	2,570,000	2,570,000
受取補助金等	14,120,000	14,120,000
受取負担金	1,579,000	1,579,000
受取寄付金	0	0
雑収益	540,000	540,000
経常収益計	27,837,800	27,837,800
II 経 常 費 用		
事業費用	25,140,565	25,140,565
管理費	2,697,235	2,697,235
経常費用計	27,837,800	27,837,800
当期一般正味財産増減額	0	0
一般正味財産期首残高	6,198,439	6,198,439
一般正味財産期末残高	6,198,439	6,198,439

施設・事業所部会 学齢・本人活動支援部会併催

「グループホームができるまで ～ありのままを受け入れる取り組み～」

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会 施設・事業所部会 会長 長田 幸恵
学齢・本人活動支援部会 会長 内海 育子

リモートで多数ご参加いただきありがとうございました。
グループホームができるまでの話では「具体的な話が聴けてよかった」とのお声をいただきました。課題はありますが、どんなことも利用者主体に考える姿をご理解いただけたものと思います。また、学齢期の方からは「GHに入居できるように今までの生活を見直したい」と。将来に向けて具体的な目標を持っていた様で何よりです。



管理者の平川さんは「自己肯定感」「自尊感情の育成」が大切だと言われていました。それが生きる力や意欲につながるからだ。

学校を卒業してからでも成長は止まらない。我が子に期待しましょう。

施設・事業所部会(学齢・本人活動支援部会併催)の講演をリモートで受講して

NPO法人三木市手をつなぐ育成会 副理事長 齊藤 好美

教育センターにて県育成会施設・事業所部会(学齢・本人活動支援部会併催)に参加しました。リモートでの研修が初めてだったので、どんな感じなのかと一抹の不安と久しぶりに開催された研修に参加できる喜びでいっぱいでした。グループホームができるまでは、総括副施設長 田畑さんの話を聞きながら、完成まで紆余曲折があったことを改めて知り、感謝の気持ちで胸が熱くなりました。また、グループホーム入所希望に手をあげてから、今までのことが思い出されました。これでよかったのか、これでよかったんだと葛藤していたことなどを。

グループホームでの生活については、れんげハウス 管理者 平川さんが、写真を交えて詳細に話してくださいだったので、安心して生活をしている様子が、手に取るようにわかりました。入居するにあたり必要な費用(エアコン、テレビ等)、生活に掛かる費用など(家賃、光熱費、食事代等)も説明してくれたので、これも準備するに辺り安心できる1つになると思いました。残念なのは三木だけが映像を送信することが出来なかったことです。また、質疑応答の時も音声が届かなかったことです。コロナ禍でも、感染に気をつけながら研修が開催でき、近くで有意義な時間を過ごせることが出来ることにも気づきました。

最後に兵庫県でリモート参加された他市町の感想を一部紹介します。

他市町の感想

- 部会に参加しないと聞けない話が聞けて大変勉強になりました。先輩方のお話を聞く機会がもっとたくさんあればと改めて思いました。
- まだ子どもが小学生で大人になった我が子のことはなかなか想像できませんが、いずれ色々な選択をすると考えた時、選択肢が多くあれば良いな、そのために自分はどうするかどう考えるかを身近に思うことができました。
- 今後我が子への関わり方を工夫し、将来グループホームに入居できるように今までの生活を見直したいと思います。
学校を卒業してからでもまだまだ成長できると、我が子に期待しています。
- 親が年を重ね切実な問題山積みです。参考にさせていただきます。
- 支援員、世話人の数の多さにびっくりしました。経営は、+GHは厳しいと言われている中、支援員の確保だけでも大変だったかと思えます。勉強になりました。
- 三木市の活動にとっても興味があったので、お話しが聞けて良かったです。

新型コロナウイルス特集

2020年、中国武漢で発生したとされる新型コロナウイルス感染症が瞬く間に世界中に拡がりました。他国の話、他県の話…という甘い認識は翻り、4月には日本全国が緊急事態宣言下になり、あっという間に身近になりました。

人と会わない、近寄らないという新しい生活スタイルは、障害のある人たちの行き場を失うことでした。感染しない、させないというとてつもなく厳しい緊張感の中、障害者支援事業所は、使命感をもって彼らの支援を継続してくれました。職員の皆さんが厳しい行動制限を強いられながら感染予防に努めてくださったことに家族として心から感謝しています。

兵庫県でも多くの感染者が確認される事態となり、当然のことながら、障害者支援事業所も一人の陽性者から感染が拡がりクラスターとなったところがありました。

施設から濃厚接触者

A
さん

普段利用しているデイサービス施設から連絡を受けました。福祉サービスや家族への連絡を全て私(保護者)がしなければならず大変でした。

自宅でのマスク着用はストレスになることから息子以外の家族全員がマスク着用しました。

食事も時間差で取りお風呂と寝室は別々では無理なのでいつも通りに行いました。

検査は保健所が予約を入れてもらう時に鼻咽、唾液のどちらかを選べ鼻咽PCR検査をしました。検査時看護師と私と2人で抑えてしました。検査は公費で支払われましたが事務手続きなどは実費でした。

陰性結果でも濃厚接触日から14日間は自宅待機です。自宅待機中は毎日、生活介護施設から電話があります。また、保健所からも健康観察の電話がありました。

課題

- ・ 自宅内でマスクが出来ない。
- ・ ストレスが溜まる。
- ・ 不織布マスクをつける
- ・ マスクの処理
- ・ 洗濯物の分離
- ・ タオルなどは分ける
- ・ 石鹸やアルコール消毒の徹底
- ・ 家族密でストレス→虐待に繋がらないか心配。

B
さん

ある日の夕方、娘の通所先である施設から緊急連絡が入りました。

施設でコロナ感染者が出た、症状は今のところ出ていないがPCR検査の結果は陽性であったという驚きの連絡でした。

いつかはこんな日が来るかもしれない、でもそんなことは滅多にないであろう・・・と根拠のない思い込みをしていた私でした。

保健所からの指示で、支援員さん施設職員さん利用者全員がPCR検査を受ける必要があること、その医療機関や日時の説明を聞いているうちに頭が真っ白になっていき、話は聞いているのだが理解できない状態になってしまいました。

パニックと動揺で何回も同じことを尋ねなおし、それでも受け入れ難くまた確認してしまうほどでした。電話の相手の職員さんは、「こちらも混乱しており、すみません」と言っておられました。

ガンガンと大きな音で恐怖が迫ってきて、途方もなく不安に陥ったのを忘れられません。少し時間が経過し落ち着いてから、高齢の母親に連絡をして、暫くは手伝いに行けないことやその代替え方法についての話をしました。

次に、結果が陽性の場合に濃厚接触者となりえる人に連絡をして、状況を伝えました。そして親しくしている近くの知人に、もしもの場合の生活援助を具体的に頼みました。

しかし、症状が出て入院なんてことになったら生活援助を頼むどころのレベルでは済まないし、そう考えるとまたまた不安が渦を巻き、検査当日

までは何をするのも落ち着かず、胸が時々キューンと痛む日々でした。

いよいよPCR検査当日、病院の駐車場で車内での検査でした。ブルーとシルバーの防護服にエプロン、帽子、ゴーグル、分厚いマスク、更にフェイスシールド、手袋、テレビで見るのと同じ情景にゾクゾク凍ってしまいそうでした。鼻の奥

まで器具が挿入され、拒否したり逃げ出したりで大変な検査でした。

夕方に結果報告があり、全員陰性の知らせにほっと胸を撫で下ろした次第です。引き続き、消毒、換気、マスク着用を徹底しなければと痛感しました。不謹慎ですが、もし私が発熱しても、PCR検査は受けずに黙っているかもしれません。

当事者…息子と家族がコロナウイルスに罹患して

息子61歳は、昨年10月半ばに足の具合が悪くなり息子が小さい時から診てもらっている市内のA病院に入院しました。ところがしばらくするとA病院でコロナウイルスのクラスターが発生し、退院させてほしいと何度も希望しましたが病院の方が安全だという医師の言葉を信じそのまま入院しました。年が明け、1月初めにPCR検査が陰性だったので退院したところ、5~6日後に発熱したためA病院に連絡しましたが往診に来てくれませんでした。また、長年お世話になってるかかりつけ医もクラスターが発生した病院に入院していたことを伝えると来てくれません。困ってしまい、近所のB医院に連絡すると勇気ある先生と看護師さんが防護服を身に着けすぐに往診に来て下さったのです。そして市内のC病院に入院の手続きをして下さいました。その後、PCR検査で陽性の判定が出てコロナ指定病院のD病院に運ばれることになりました。熱がなかなか下がらず心配しましたが、D病院の手厚い看護のおかげで2月中旬に再びC病院に帰ってこれることができました。まだ体調は万全とはいえませんが、A病院を

退院した時にあった褥瘡も治り無事に市内の病院に帰ってこれることができ安堵しています。

また、私と娘が濃厚接触者ということでPCR検査をしたところ二人とも陽性の結果になり、娘の方は幸いなことに無症状でしたが、私は熱が出たため入院することになり救急車を呼びました。しかし、受け入れ先がすぐには見つからず救急隊員が4時間かけ自宅から離れたコロナ指定病院を探して下さいました。1週間ほど入院した後自宅療養をして現在では普通の生活に戻ることが出来ました。

今回、息子は高熱が続き一度はあきらめた命でしたが、B医院、C病院、D病院の皆様のお陰で健康を取り戻しつつあり感謝しています。

家族3人コロナに罹りましたが、息子が助かり高齢の私が重症化しなかったことは、いつも息子の為にバランスの良い食事を心がけたことで基礎疾患がなかったことが功を奏したと自負しています。

そして、他人から見たら息子はただの61歳の男性かも知れませんが、私にとっては大事な宝物だということを再認識しました。

(令和3年2月24日お話を伺いました)

新型コロナウイルス感染症についてわたしたちができること

【新型コロナウイルス感染症】という病名が新種で流行しています。感染力が強いのが、ウイルスのつらさとい、ほかの人にうつさないよう注意を怠らなことが、とても大切です。

新型コロナウイルス感染症にかかるとどうなる？
新型コロナウイルスは、鼻、のど、目、くしゃみやのどの腫れになるウイルスです。人によっては、かっつても症状がない場合もあります。

どうやってうつしてしまうの？
【新型コロナウイルス感染症】は、新型コロナウイルスにかかった人のくしゃみ、せきと一緒に飛び、ほかの人がそのウイルスを吸い込むこととなります。また、ウイルスがついた手でさわった物を、ほかの人がさわることでもうつることもあります。

うつらないほかの人にうつさないようにするために？
新しいウイルスで、よくわからないことも多いですが、新型コロナウイルスはうつらないほかの人にうつさないように、わたしたちが手取ることができることは、次のページのことについて注意しましょう。

保健福祉課 保健指導課

部署	電話番号	受付時間
保健課	078-321-0707	9:00~17:00
生活衛生課	078-321-0704	9:00~17:00
予防課	072-785-8437	9:00~17:00
保健センター	078-422-0002	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0708	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0709	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0710	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0711	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0712	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0713	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0714	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0715	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0716	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0717	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0718	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0719	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0720	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0721	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0722	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0723	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0724	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0725	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0726	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0727	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0728	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0729	9:00~17:00
保健指導課	078-321-0730	9:00~17:00

一人ひとりができる新型コロナウイルス感染症対策

3つの密(密集)「密集」「密接」「密着」を避けましょう。

【手洗い・手指消毒】や【マスクの着用をきむチェック】が大切です。

3つの密(密集)「密集」「密接」「密着」を避けましょう。

【手洗い・手指消毒】や【マスクの着用をきむチェック】が大切です。

1. 密集を避けよう

2. 密接を避けよう

3. 密着を避けよう

4. 手洗いをしよう

5. 手指消毒をしよう

6. マスクを着よう

7. マスクの着用をきむチェックをしよう

8. マスクの着用をきむチェックをしよう

9. マスクの着用をきむチェックをしよう

10. マスクの着用をきむチェックをしよう

11. マスクの着用をきむチェックをしよう

12. マスクの着用をきむチェックをしよう

13. マスクの着用をきむチェックをしよう

14. マスクの着用をきむチェックをしよう

15. マスクの着用をきむチェックをしよう

16. マスクの着用をきむチェックをしよう

17. マスクの着用をきむチェックをしよう

18. マスクの着用をきむチェックをしよう

19. マスクの着用をきむチェックをしよう

20. マスクの着用をきむチェックをしよう

21. マスクの着用をきむチェックをしよう

22. マスクの着用をきむチェックをしよう

23. マスクの着用をきむチェックをしよう

24. マスクの着用をきむチェックをしよう

25. マスクの着用をきむチェックをしよう

26. マスクの着用をきむチェックをしよう

27. マスクの着用をきむチェックをしよう

28. マスクの着用をきむチェックをしよう

29. マスクの着用をきむチェックをしよう

30. マスクの着用をきむチェックをしよう

31. マスクの着用をきむチェックをしよう

32. マスクの着用をきむチェックをしよう

33. マスクの着用をきむチェックをしよう

34. マスクの着用をきむチェックをしよう

35. マスクの着用をきむチェックをしよう

36. マスクの着用をきむチェックをしよう

37. マスクの着用をきむチェックをしよう

38. マスクの着用をきむチェックをしよう

39. マスクの着用をきむチェックをしよう

40. マスクの着用をきむチェックをしよう

41. マスクの着用をきむチェックをしよう

42. マスクの着用をきむチェックをしよう

43. マスクの着用をきむチェックをしよう

44. マスクの着用をきむチェックをしよう

45. マスクの着用をきむチェックをしよう

46. マスクの着用をきむチェックをしよう

47. マスクの着用をきむチェックをしよう

48. マスクの着用をきむチェックをしよう

49. マスクの着用をきむチェックをしよう

50. マスクの着用をきむチェックをしよう

51. マスクの着用をきむチェックをしよう

52. マスクの着用をきむチェックをしよう

53. マスクの着用をきむチェックをしよう

54. マスクの着用をきむチェックをしよう

55. マスクの着用をきむチェックをしよう

56. マスクの着用をきむチェックをしよう

57. マスクの着用をきむチェックをしよう

58. マスクの着用をきむチェックをしよう

59. マスクの着用をきむチェックをしよう

60. マスクの着用をきむチェックをしよう

61. マスクの着用をきむチェックをしよう

62. マスクの着用をきむチェックをしよう

63. マスクの着用をきむチェックをしよう

64. マスクの着用をきむチェックをしよう

65. マスクの着用をきむチェックをしよう

66. マスクの着用をきむチェックをしよう

67. マスクの着用をきむチェックをしよう

68. マスクの着用をきむチェックをしよう

69. マスクの着用をきむチェックをしよう

70. マスクの着用をきむチェックをしよう

71. マスクの着用をきむチェックをしよう

72. マスクの着用をきむチェックをしよう

73. マスクの着用をきむチェックをしよう

74. マスクの着用をきむチェックをしよう

75. マスクの着用をきむチェックをしよう

76. マスクの着用をきむチェックをしよう

77. マスクの着用をきむチェックをしよう

78. マスクの着用をきむチェックをしよう

79. マスクの着用をきむチェックをしよう

80. マスクの着用をきむチェックをしよう

81. マスクの着用をきむチェックをしよう

82. マスクの着用をきむチェックをしよう

83. マスクの着用をきむチェックをしよう

84. マスクの着用をきむチェックをしよう

85. マスクの着用をきむチェックをしよう

86. マスクの着用をきむチェックをしよう

87. マスクの着用をきむチェックをしよう

88. マスクの着用をきむチェックをしよう

89. マスクの着用をきむチェックをしよう

90. マスクの着用をきむチェックをしよう

91. マスクの着用をきむチェックをしよう

92. マスクの着用をきむチェックをしよう

93. マスクの着用をきむチェックをしよう

94. マスクの着用をきむチェックをしよう

95. マスクの着用をきむチェックをしよう

96. マスクの着用をきむチェックをしよう

97. マスクの着用をきむチェックをしよう

98. マスクの着用をきむチェックをしよう

99. マスクの着用をきむチェックをしよう

100. マスクの着用をきむチェックをしよう

事業所の事例

短期入所事業所の事例

9月初旬、夜間に職員が発熱し翌日PCR検査。当日、宿泊していた利用者男性4名はそのまま事業所に待機状態。翌々日、職員の陽性が判明し、利用者もPCR検査を実施。翌日、全員の陰性が確認され、それぞれ自宅に帰りました(高齢・基礎疾患ありの祖母と2人暮らしの利用者のみ待機延長)。

その後、自宅に帰った利用者が発熱し再検査の結果陽性、そのご家族も陽性となるなど、最終的には、利用者、職員、家族合わせて8名が陽性となりました。利用者1名は入院、自宅待機となった利用者が外出制限によりパニック状態となり家族が疲弊する等厳しい事態となりました。

1人目の体調不良の職員の「陽性」を想定して早い対応をしたことで感染の拡がりを押さえられたとはいえ、陰性から陽性へと転じる「偽陰性」の怖さや支援体制等事業所の課題、そして入院となれば原則付き添いはできず指定病院で対応となることなど家族の不安は現実になりました。

通所事業所・グループホームの事例

11月初旬、利用者1人の感染が判明し、事業所内同フロアの利用者、職員全員のPCR検査を実施。利用者3人、職員2人の陽性が確認されたため、全施設の利用者・職員にも検査を拡大。結果、利用者・職員合わせて12人が陽性。新たに確認さ

れた陽性者の中にグループホームの利用者・職員もいたことから、通所事業所は全面閉所となり、グループホーム利用者はホーム待機となりました。

自宅待機となった利用者の中には、不安から精神的に追い込まれ問題行動を起こす人がいたり、収束まで1か月近い期間となり、重度の利用者の場合は家族の負担がとて大きくなりました。さらには、地域から浴びせられる心無い中傷や、グループホームのオーナーから退去を求められるなど厳しい風評被害を受けました。

.....

どちらの事業所も、できる限りの感染予防対策をし、職員は行動も制限された厳しい日常を送っていました。感染が発生した場合を想定した事業継続計画を作成していても、実際は想定通りにはいかないのが現実のようです。行政や保健所とのやり取りや、家族・関係各所への情報開示、濃厚接触者を確定するためのリストをはじめとする膨大な提出書類の作成等々職員にかかる負担は想像以上です。

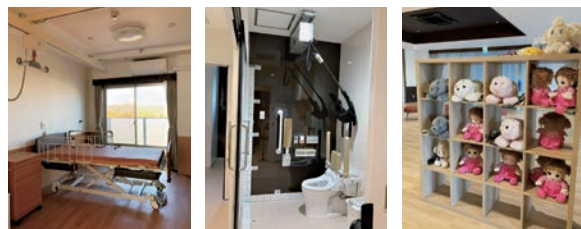
一度、感染が収束したから大丈夫とならないのがこのコロナ禍の厳しさです。ゼロコロナになる日が来ない限り、誰もが気をつけながら今の生活スタイルになじんでいくしかありません。

感染してしまった人やクラスターとなってしまったことを「悪」としない世の中でありませうように。

権利擁護委員会・就労支援部会 地域生活・高齢化対策部会 合同での視察に参加して

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会
就労支援部会 副部会長 植田 貴代

今年度は、コロナ禍のため例年通りの活動ができず、合同で令和2年11月18日に特養「万寿の家」を視察しました。兵庫県福祉事業団が玉津より北区に10月に移転、新施設には高齢障害者専用ユニットも2つ(20床)整備されていました。障害者等の高齢化や親亡き後の不安に対応するものです。長年の障害者支援の経験を生かし障害特性を理解した上での環境整備等、随所に工夫が



.....

されていました。例えばノーリフティングケア用の移乗時の多様なリフトや見守り機器等介護ロボットや福祉用具を積極的に導入し、介護者の負担を減らすことで余裕のある支援ができる仕組みです。これから先、人材不足の不安が大きい介護の未来にも期待が持てる取り組みだと感じました。



障害基礎年金学習会をYouTubeで開催しました

令和2年度障害基礎年金学習会においては、丹波篠山市立篠山養護学校・兵庫県立阪神特別支援学校・兵庫県立いなみ野特別支援学校・兵庫県立播磨特別支援学校の4校が希望していましたが、コロナ禍のため中止になりオンラインでの受講になり、アンケートに答えていただきありがとうございました。

- 講義を拝見させていただき、とても詳しく教えて下さり、将来すべきことがイメージできました。IQが高いことと生活の能力は違うこと、療育手帳の区分とは別物であること、医師に記入してもらう診断書もとても重要な要素であることなど、大切なポイントを詳しく教えて下さり、具体的なことがよく分かりました。今から知っておくことで必要時に焦らずに手続きが出来るように心構えができたと思います。新型コロナで大変な世の中ですが、オンラインというこのような新しい形でも、レジュメとパワーポイントを使いながら保護者へ分かりやすく教えて下さったことに、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。大切なお時間を割いて下さり、ありがとうございました。
- 障害基礎年金の受給について、軽度障害の娘の場合はどうなのか…と気になっていたのですが、IQや療育手帳の判定とはイコールではないこと、「一人暮らしを想定」して評価すること、などを知ることができとても勉強になりました。資料だけでもある程度内容が分かりやすく纏められていたのですが、お話の中では具体例も挙げられていたので拝聴してよかったです。今は娘が中学生のため、対象になるのは数年先にはなりますが、準備しておくべきことなど心積もりをすることができました。ありがとうございました。配信という形で講演いただいたことで、一時停止をしたり聞き逃した場面も遡ることができたので、個人的には助かりました。
- 子供は、まだ申請まで年月があり無知でしたが、今回学習会の機会を頂き、知る事、考える機会が出来ました。You Tubeの視聴期限が短期間だったのですが、障害基礎年金は、子供はもちろん親、家族等にとっても大切な制度であるとわかりました。申請は大変そうですが、今から勉強し始め、手続きをスムーズに出来るように今から準備をし始めようと思いました。ありがとうございました。
- この度は障害基礎年金学習会に参加させていただきありがとうございました。動画配信をしてくださったおかげで、申し込んだ私だけでなく、休日に夫とともに視聴し学べたことが大変ありがたかったです。障害基礎年金に関してほとんど知識がない状態でしたので、小林先生に丁寧に例も交えながら説明していただいて、内容がとてもよくわかりました。

今回、申請手続きの流れや、必要な書類などを知ることができたのがとても助かりました。そして資料に病歴・就労状況等申立書と診断書の見本をつけてくださっていて、申立書の記入例も大変参考になります。これらを知らないで、年金請求する直前に申立書の記載事項を用意するとなるとかなり大変だと思いました。今から少しずつ準備していこうと思います。

- お金は必要不可欠なもの。大事だとわかっているものの、年金学習会の資料だけではなかなか向き合えず……。オンラインで視聴することができとてもわかりやすく、改めて将来について考える機会になりました。ありがとうございました。

兵庫県立播磨特別支援学校

(1) 年金に関する年金学習会(ネット配信)を視聴されましたか	1年	2年	3年	合計
a 視聴した	10	12	10	32
b 視聴しなかった	20	18	16	54
合計	30	30	26	86

(2) (1)でbと答えた理由について	1年	2年	3年	合計
a 忙しくて視聴する時間がとれなかったから	15	9	8	32
b 年金についてある程度知っているから	0	3	2	5
c 視聴する手段(スマホ、パソコン等)がなかったから	0	0	1	1
d その他	5	6	5	16
合計	20	18	16	54

(3) ネット配信について	1年	2年	3年	合計
a 配信ではなく通常の講演会のほうがよい	4	4	2	10
b ネット配信(YouTube)のほうがよい	6	5	5	16
c その他	0	3	2	5
d 無回答	0	0	1	1
合計	10	12	10	32

(4) 配信期間について	1年	2年	3年	合計
a 適切だった	5	4	6	15
b もっと長いほうがよい	4	8	2	14
c もっと短いほうがよい	1	0	2	3
合計	10	12	10	32

(5) 配信時間(講演の長さ)について	1年	2年	3年	合計
a 適切だった	5	9	5	19
b もっと長いほうがよい	5	1	1	7
c もっと短いほうがよい	0	2	4	6
合計	10	12	10	32

(6) 講演の内容について	1年	2年	3年	合計
a とてもよかった	2	5	2	9
b よかった	8	6	7	21
c あまりよくなかった	0	0	1	1
d よくなかった・無回答	0	1	0	1
合計	10	12	10	32

権利擁護セミナー (in鳥取)

公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会
副理事長 近藤 眞由美

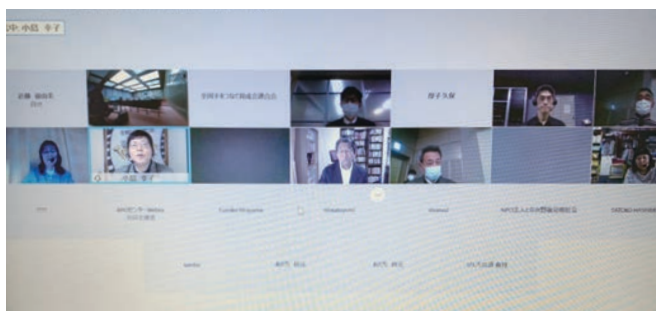
2月26日(金)全国手をつなぐ育成会権利擁護セミナーがハイブリッドスタイルで開催され、自宅からオンライン参加しました。

「みんなで考えよう成年後見制度～あたらしい幸せを願って～」というテーマで、「グループホーム等反対運動アンケート調査報告」(関谷直人氏)、基調講演「成年後見制度で守れること・守れないこと」(曾根直樹氏)、シンポジウム「本人にとってメリットが感じられる後見を身近なものにするために」…と盛りだくさんの内容でした。

成年後見制度開始から20年が経ちました。個人的には、障害のある人たちにとってまだまだ使い勝手がいいとは思えず、制度利用には踏み切れていません。

成年後見制度利用促進法が施行され、利用者がメリットを実感できる制度となるよう運用の改善や地域連携ネットワークづくりが検討されているというお話でした。

後見業務の「財産管理」以外報酬にあまり反映されていなかった「身上保護(身上監護)」業務を高く評価する方向で検討が進んでいることや、身近な親族や福祉・医療・地域等の関係者が後見人



とともに本人を日常的にチームで支える仕組みづくりなど、「使える」制度への兆しを感じるセミナーでした。

遠方の皆さんとリアルにお会いできないのは残念ですが、自宅に居ながらにして参加できるオンライン研修の気軽さを実感しました。今後は、この形がスタンダードになるのでしょうか。

親なきあと相談会(三田市)に参加してのアンケート集約

1. とても理解しやすい講演でした。今、思っている事を、知っていただいているかの様感じながら聞かせていただきました。

2. 非常にわかりやすかった。将来の参考になりました。

3. 大変役に立つ情報をありがとうございました。

福島先生のお話は分かりやすく、簡潔にポイントをまとめて下さっていたので、理解しやすかったです。残念ながら質問する時間がなかったので、また改めて三田にお呼びして講演していただきたいです。

4. 本日の講演は短い時間の中でしたが、とてもわかりやすく、有意義なものでした。ありがとうございました。

まだ先のことを考えず、少しずつ関係機関と相談しながら進めていけたらと思います。

緊急事態宣言中でしたので、出席者も少なく申し訳ありませんでした。出席者からは、是非先生のお話をもっと詳しくお聞きしたいという意見が出ていました。



知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、知的障がい児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償
※プランによって補償します

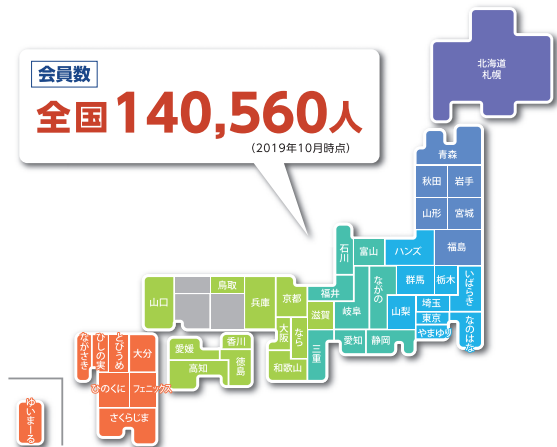
※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

●生活サポート総合補償制度の主な特長●

- ▶入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約140,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。



AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
ジェイアイシーウエスト 株式会社
〒540-0026 大阪市中央区内本町1-1-1
OCT 7階
TEL : 06-6941-5187 FAX : 06-6944-1728
受付時間 : 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
大阪プロチャネル営業部
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 36階
TEL : 06-7223-2010
受付時間 : 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

地域自慢 in 豊岡市

認定NPO法人 はばたけ手をつなぐ育成会

理事長 中井 佳与子

豊岡市は、県北西部に位置する人口8万人にも満たない小さな町です。豊岡と言えば皆さんの脳裏に浮かぶのは「コウノトリ」「鞆」といったところでしょうか。近年、これに加えて「演劇」が豊岡を語る上での新たなキーワードとなりました。劇作家平田オリザさんが劇団ごと移住。「豊岡を世界最大の演劇祭都市に！」をスローガンに、昨年第1回の豊岡演劇祭が開催されました。今年4月には、芸術文化観光専門職大学も開校の予定で、「演劇の町」が現実のものとなる日も近いかもしれません。

ところで、志賀直哉の「城の崎にて」で知られる城崎温泉は、全国的にも有名な温泉地ですが、豊岡市にあるとご存じの方は案外少ないのでは？但馬の小京都と呼ばれる出石、冬はスキー夏は避暑地として多くの人々が訪れる神鍋高原等々。これらも全て豊岡市なのです。最初に小さな町と申し上げましたが、面積は兵庫県で最も広大なのです。小さな世界都市-Rocal & Global City-を目指す豊岡市を、是非訪れてみてください。(コロナ禍終息の折には)

さて、認定NPO法人はばたけ手をつなぐ育成会では、より一層地域の皆様のご理解ご支援を得るべく、2010年より毎年12月に「フェスタはばたけ」を開催しています。豊岡市民プラザフロア全面を借り切って、ステージイベントの他、交流サロンでは、はばたけ縁日と称したゲームコーナーなどを設け、ご家族連れの皆さんに好評を博しています。ステージでは、当会の和太鼓チーム「はばたけ鼓心」が日頃の練習の成果をご披露するのも恒例となりました。

しかし、昨年はコロナ禍のため、会員とその家族のみのご招待とせざるを得ませんでした。今は、「できることをできる形で」やるしかありません。一日も早くかつての日常が戻り、「コロナ禍終息の折には」の条件をつけることなく、「いらしてくださいね」とお誘いできる日がきますように、と祈るばかりです。



(株)大黒商事様から寄附

令和2年10月2日、株式会社大黒商事様から知的障害のある人への支援として金15万円をご寄附いただきました。大黒商事様には平成21年から毎年コピー機の売上金の一部を寄附していただいています。会社を挙げた温かいご支援に心より感謝申し上げます。



7月豪雨義援金のお礼

令和2年度は、7月発生した豪雨災害において被害を受けられた方々を支援するため、会員の皆様に義援金のご協力をお願いしたところ、37万3千円が集まりました。これらご厚志については令和2年10月20日付けで全国手をつなぐ育成会連合会へ送金いたしました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。



令和2年度 賛助会員

(順不同)

大前 繁雄	西宮市	ミナト歯科医院	明石市	田野 哲夫	美方郡
久米 利津子	芦屋市	神沢医院	三木市	あい保育園	神戸市
野村医院	芦屋市	神沢クリニック	三木市	妹尾 昭吾	神戸市
大野 セツ子	宝塚市	埜崎 太宗	多可郡	デジタルグラフィック(株)	神戸市
上坂 秀昭	川西市	まねき食品(株)	姫路市	吉田 裕明	神戸市
坂本 寿子	川西市	稲田 武利	たつの市	ジェイアイシーウエスト(株)	大阪市
(株)丸優	三田市	田淵 聡子	たつの市	根来 厚子	京都市
(株)丹波屋	三田市	前田 智子	赤穂市	ちえの友鉛筆(株)	東京都
谷本 靖子	明石市	合橋診療所	豊岡市	匿名	
廣橋 岳登	明石市	松原 和夫	豊岡市	ちえの友鉛筆(株)	東京都

◆ 令和2年度知事表彰

氏名	住所	勤務先
小寺 宏治	尼崎市	全協食品加工有限公司

◆ 第16回兵庫県障害者芸術・文化祭【障害者福祉大会】就労表彰

《20年表彰》

氏名	住所	勤務先
松原 優介	尼崎市	株式会社山久
金井 友宏	西宮市	社会福祉法人甲山福祉センター 特別養護老人ホーム甲寿園
西上千景	西宮市	株式会社さかもと食鳥
浅見 一郎	西宮市	ヤマト運輸株式会社 関西ゲートウェイベース
岡野 武弥	宝塚市	ヤマト運輸株式会社 兵庫主管支店 兵庫ベース店
伊井 貴文	加古郡稲美町	綿久リネン株式会社
喜多山 公雄	加古川市	株式会社カネカ 高砂工業所
久保 和志	加古川市	新関西衣料サービス株式会社
森 将樹	加古川市	株式会社トーホーストア 加古川ミートセンター
田原 守人	加古川市	株式会社トーホーストア 加古川ミートセンター
向 規行	加古川市	兵庫トヨタ自動車株式会社 マイカーランド加古川
黒田 小百合	姫路市	株式会社安野産業
國富 由紀	姫路市	株式会社クリシェ
難波 克之	神崎郡福崎町	ショーワグローブ株式会社

《10年表彰》

氏名	住所	勤務先
木村 憲一郎	尼崎市	神戸大学キャンパスライフ支援センター
田辺 修	西宮市	松本金属株式会社
斧原 史子	宝塚市	株式会社ケー・シー・エス
斧原 桂子	宝塚市	株式会社ヨドバシカメラ アッセンブリーセンター六甲
大谷 拓人	加古川市	株式会社ラウンドワン 加古川店
吉田 昂司	加古川市	株式会社シーテクノワークス
田中 佑真	加古川市	国立大学法人神戸大学
宮崎 博之	加古川市	株式会社アレフ
沼田 美智子	神崎郡福崎町	医療法人内海慈仁会 姫路北病院
矢本 慎吾	洲本市	イオンリテール株式会社 イオンスタイル洲本

編集後記 毎日コロナ対策、コロナ情報・・・私たちが不安にし、窮屈な環境にしているコロナウイルスはなかなか手強いです。多くのイベントがなくなり思うように活動ができず、暗いニュースばかりです。そんな中でも、時々、朝の通勤時間に利用する電車で、独り言を言いながら電車のホームをウロウロ・・・電車を待っている彼に、心がほっこりしてファイトをもらってます。「今日もお仕事、頑張って!! 気をつけて行ってらっしゃい」と心の中で、小さく手を振ってるんです。(F・T)